

教員資格及び教育内容等の自己評価書

令和健康科学大学リハビリテーション学部

理学療法学科・作業療法学科

2023 年度

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数								非常勤 教員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数	助手			
リハビリ テーショ ン学部 理学療法 学科	7人	2人	4人	6人	19人	9人	17人	0人	79人	8人	
リハビリ テーショ ン学部 作業療法 学科	6人	1人	2人	4人	13人	9人	12人	0人	69人	6人	
計	13人	3人	6人	10人	32人	18人	29人	0人	148人	—	

\*非常勤職員に兼務教員を含む

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
※大学ホームページ シラバス参照 (URL: <a href="https://u-ths-syllabus.jp/">https://u-ths-syllabus.jp/</a> )					

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

**\*開学2年目で見学実習、検査測定実習および地域実習(OT)のみの実施のため評価せず**

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲 (理学療法学科)	開講時期	関連講義名	開講時期
病院等での見学	1年通年	基礎臨床実習Ⅰ	1年前期
		基礎臨床実習Ⅱ	1年後期
病院等での実践	2年後期～	検査測定臨床実習Ⅰ	2年後期
		検査測定臨床実習Ⅱ	3年前期
		評価臨床実習	3年後期
		地域臨床実習	3年後期
		総合臨床実習Ⅰ	4年前期
		総合臨床実習Ⅱ	4年前期

臨床実習の見学又は実践する範囲 (作業療法学科)	開講時期	関連講義名	開講時期
病院等での見学	1年通年	基礎臨床実習	1年通年
病院等での実践	2年前期～	地域臨床実習	2年通年
		評価臨床実習	3年通年
		総合臨床実習Ⅰ	3年後期
		総合臨床実習Ⅱ	4年前期
		総合臨床実習Ⅲ	4年前期

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
<input checked="" type="radio"/>	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
<input type="radio"/>	自己点検・評価の体制がない。	1

\*開学2年目であり体制は整備されているが、機能的に運用するための十分な役割を果たせていない

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	大学評価委員会
委員名（委員長）	学長（委員長）、西村大学院統括、宮里看護学部長、稲川リハビリテーション学部長、辻看護学科長（看護学部長代理）、永崎理学療法学科長、近藤作業療法学科長、竹元看護副学科長、富永教授、古後教授、渡邊事務長、江島企画室長
組織の開催頻度	2023年度は定期開催なし
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生による授業評価の実施と結果のフィードバック（教務委員会）</li> <li>・ 教育改善のための研修会の計画（FD委員会）、実施（研究委員会・各学科）</li> <li>・ 認証評価（外部評価）の対応</li> </ul>
自己点検・評価結果の公表	HPで公表予定（URL： ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

\*開学2年目で文科省によるAC期間中のため評価せず。ただし、文科省による報告では特に問題ない旨を通知されている

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教務委員会
	委員構成等	辻看護学科長（委員長）、谷川准教授（副委員長）、永崎理学療法学科長、近藤作業療法学科長、神島教授、中山教授、山口教授、古後教授、池田准教授、小西（裕）准教授、苑田講師
	改善の仕組みの実際	完成年度後のカリキュラム改定に向け、教務委員会の下部組織としてカリキュラム編成部会を設置し、3年目を目途に始動する予定である。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

・ 文部科学省によるAC期間中であり、年度ごとに報告を行っている。今年度については特に問題ない旨の通知を得ている。

・ 本学では、大学評価委員会において関係部署と連携し、内部質保証のための自己点検・評価を行ない予定であったが、今年度は開催されず保留のままとなつた。年度末に次年度に向け着任する副学長の下で適切な大学評価に向けた仕組みを構築すべく計画を立てている。また、自己点検・評価についても同様に確立に向けた計画を立てている。さらに完成年度を見越し、カリキュラム、シラバス改訂に向けた始動を次年度より行う予定である。